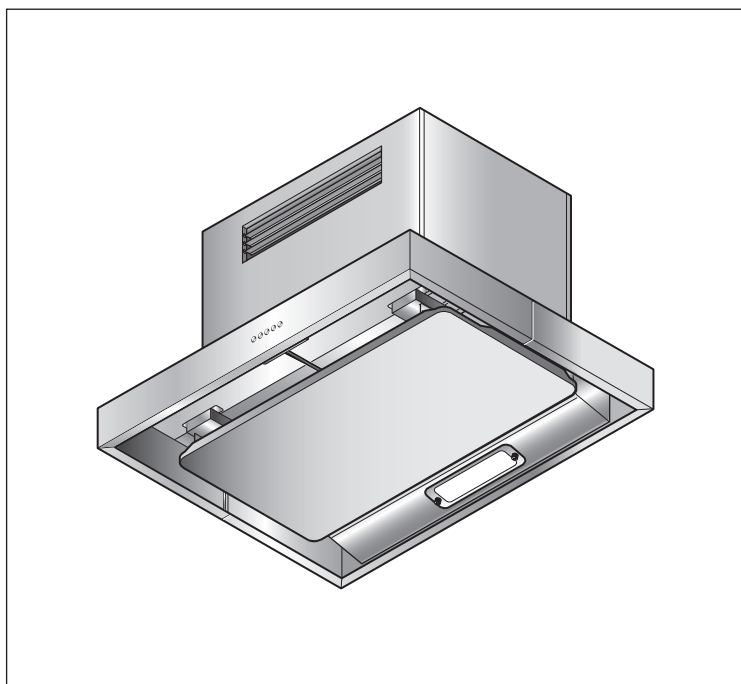


IHクッキングヒーター専用 室内循環フード 取付説明書



も く じ

安全上のご注意	2・3
取り付け上のご願い	3
取り付け前の調査と準備	4・5
各部の名称	6
製品寸法図・付属品	7
製品寸法図	7
付属品	7
取り付けかた	8～16
1. 本体の準備	8
2. 本体の取り付け	9
3. フードの取り付け	10・11
4. 電気配線	12
5. 循環ユニット用フィルタの取り付け	12～14
6. 前後ふた・スロットフィルタ・整流板の取り付け	15
7. 試運転	16
8. お客様への説明	16

販売店・工事店様へ：

この取付説明書は取り付け後、
施主様へ必ずお渡しください。

取り付け前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、
正しく取り付けをおこなってください。

1J03 1182-C



* 1 J 0 3 1 1 8 2 *

安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告**：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

 **注意**：人が軽傷を負う可能性および物的損害*の発生が想定される内容。

* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告



使用禁止

- IHクッキングヒーター以外には使用禁止
ガスコンロには使用できません。
本製品は燃焼発生ガスを浄化できませんので、一酸化炭素中毒の原因となります。



換気をする

- 燃焼器具と併用して使用する場合は、必ず換気をする
本製品は屋外への排気および換気をおこないません。
カセットコンロ、石油ストーブ等の燃焼器具を使用する場合、必ず別途換気をおこなってください。
一酸化炭素中毒の原因となります。



分解・修理・改造禁止

- 修理技術者以外の人には、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。



アースを取り付ける

- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電することがあります。
アースの取り付けは販売店にご相談ください。



取付禁止

- 周囲温度が40℃以上になる所には取り付けないこと
火災・故障の原因となります。



取付注意

- 室内循環フードの取り付けは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないようにすること
漏電した場合、発火するおそれがあります。



埋込禁止

- 室内循環フードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります。



使用禁止

- 交流100V以外では使用しないこと
火災・感電の原因となります。

100V



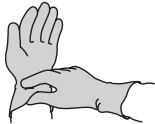
安全上のご注意

⚠ 注意



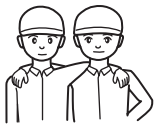
手袋をする

- 取り付けの際は必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります。



取扱注意

- 作業は2人以上でおこなうこと
製品は約45kgの重さがあります。



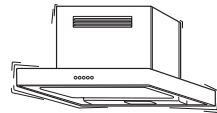
取付注意

- ファンや部品の取り付けは確実にすること
落下によりけがをするおそれがあります。



取付注意

- 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること
落下によりけがをすることがあります。



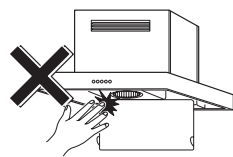
使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください。)
感電および故障の原因になります。
(本製品には換気機能はありません。)



接触禁止

- 運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと
けがをすることがあります。

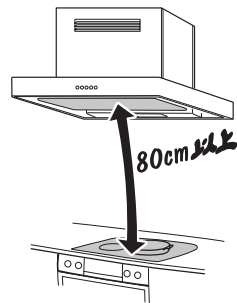


取り付け上のごお願い

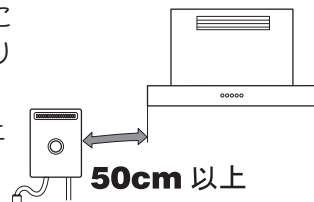
- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。
 - ・大工工事(設置のための地下工事等)
 - ・配線工事(コンセントの設置、コンセント・コネクタ利用以外の配線接続等)流通業者(販売店)を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

- 室内循環フードは、屋外への排気をしません。
備え付けのIHクッキングヒーター以外の燃焼器具を使用するには、キッチン全体の換気のため、別の換気設備が必要です。
- 室内循環フード本体と可燃物との間は10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください。詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください。
- IHクッキングヒーターの幅は室内循環フードの幅以内のものをご使用ください。
またIHクッキングヒーターは室内循環フードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。捕集効率が低下します。
- 電源は専用のコンセントおよびブレーカを設けてください。火災・故障の原因となります。

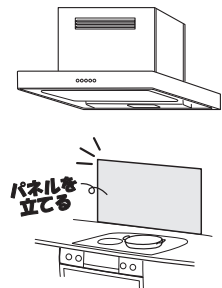
- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
- 製品はIHクッキングヒーターの真上に取り付けてください。なお、製品取付高さは、製品の下端がIHクッキングヒーターの真上80cm以上になるようにしてください。



- 室内循環フード下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。また、横方向50cm以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。



- 必ず調理器具の後ろ側にパネルを立ててください。横風等による換気性能の低下を防ぎます。なお、パネルは不燃性の材質のものをご用意ください。



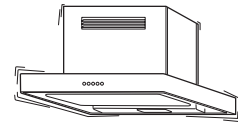
取り付け前の調査と準備

⚠ 注意



取付注意

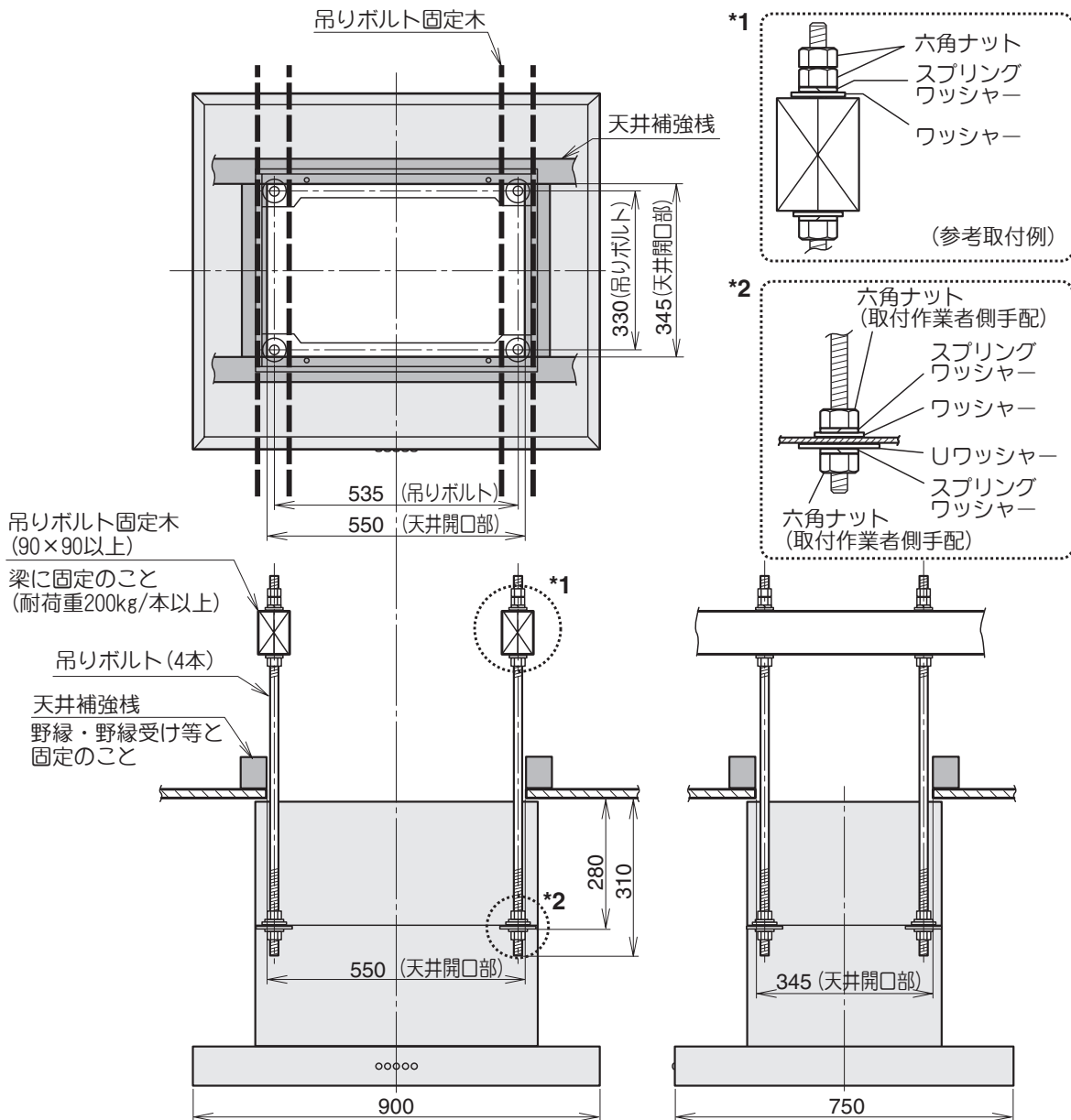
- 室内循環フード本体の取り付けは、十分強度のある取付面または補強枠等に確実にこなうこと
落下によりけがをすることがあります。



■ 取付要領図 (単位: mm)

別売のスペーサーを使用する場合

吊りボルトの突き出し長さが異なります。
詳しくは別売品に付属の取付説明書をご覧ください。



取り付け前の調査と準備

■ 取付位置の強度確認

製品を支える強さが必要です。

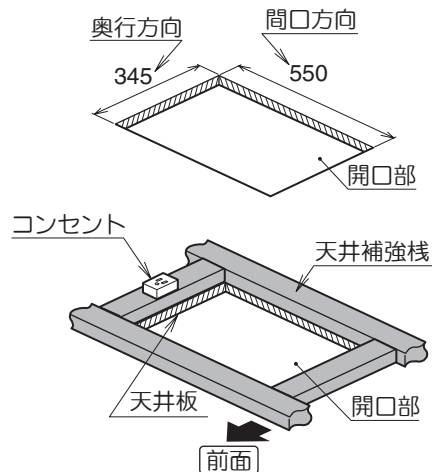
製品単体質量	45 kg
--------	-------

1 天井面への穴あけ

1) 天井面の本体を取り付ける位置に間口 550× 奥行き 345 の開口をあけてください。

2) 開口部周辺を補強棧で補強してください。
また、天井開口部近くの補強棧または野縁等に専用コンセントを設置してください。

※ 補強棧は、野縁・野縁受け等に固定してください。



お願い

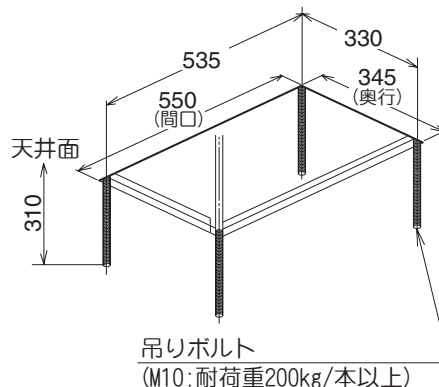
コンセントは電源コードの長さを考慮して設置してください。

2 吊りボルトの取り付け

本体の天吊り穴に合わせて、吊りボルトを垂らしてください。

※ 吊りボルトは M10 を用いてください。

※ 製品の質量は約 45kg です。吊りボルトは耐荷重 200kg/ 本以上となるように取り付けてください。



別売のスペーサーを使用する場合

吊りボルトの突き出し長さが異なります。

詳しくは別売品に付属の取付説明書をご覧ください。

3 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は、調理器具の上面から製品の下端まで 80cm です。

※ 火災予防条例では、グリスフィルターの下端が調理器具の真上 80cm 以上必要となっています。

4 電源コンセント・ブレーカ

電源コンセント・ブレーカは専用のものを設置してください (交流・单相 100V)。

コンセントは、JIS C 8303 2 極接地極付差込接続器 15A 125V をご使用ください。

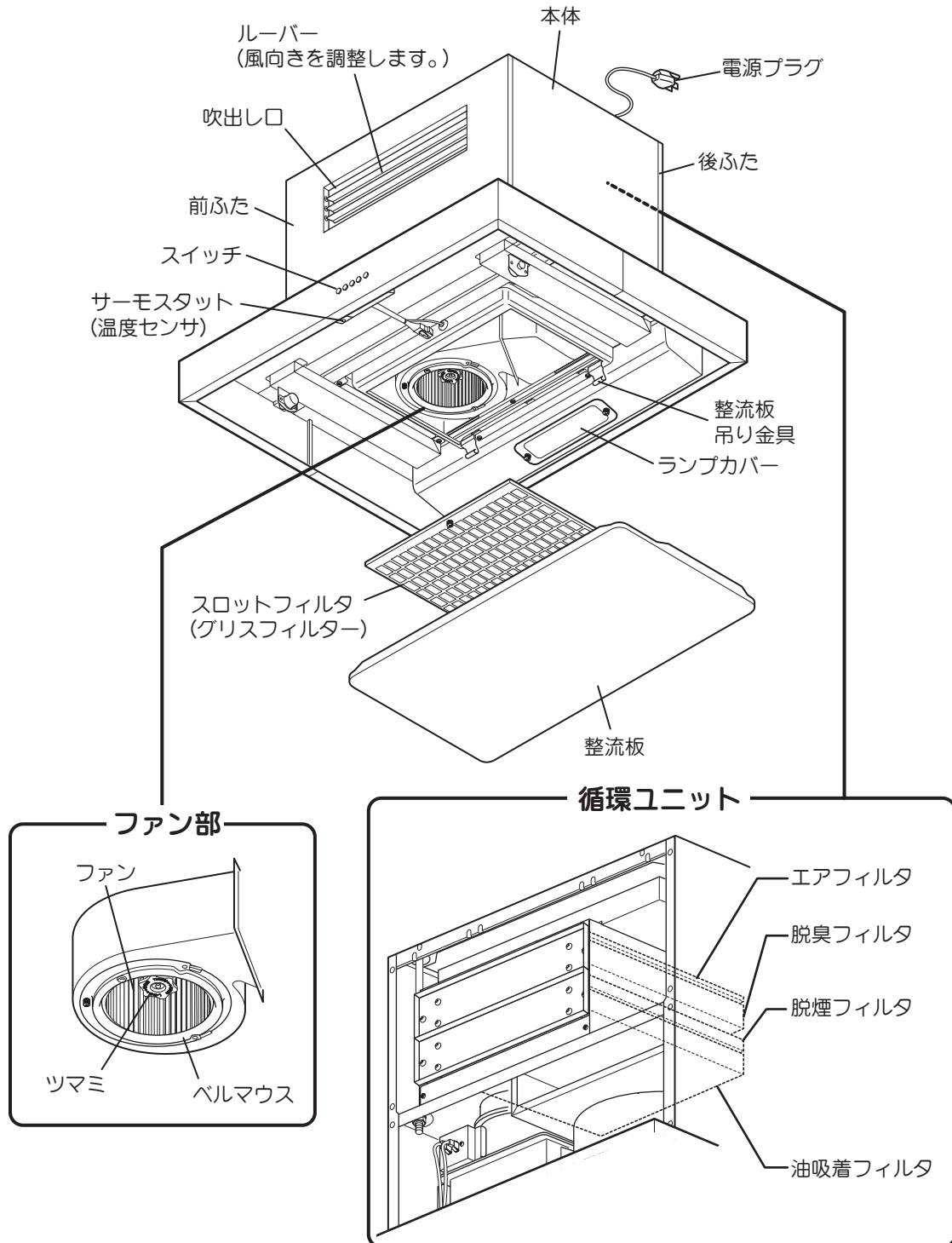
お願い

必ずアース (D 種接地工事) をしてください。レンジフードファンが誤作動することがあります。

各部の名称

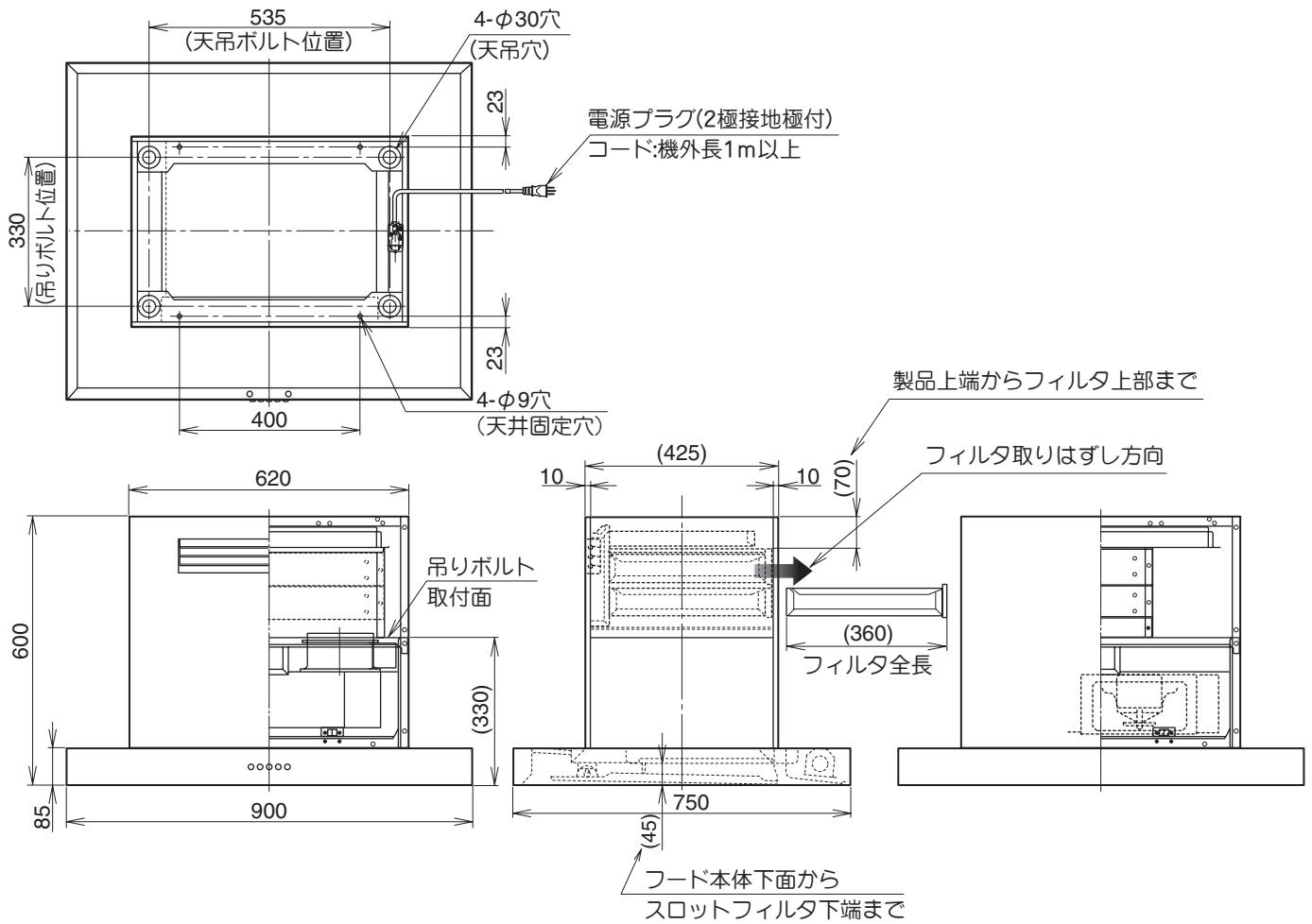
お願い

- ルーバーを閉じた状態で使用すると吸い込みが悪くなり、異音などの原因となることがあります。
- 吹出し口から中に物を入れたり、水や洗剤をかけないでください。故障の原因となります。



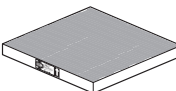


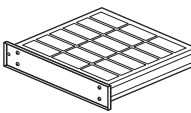


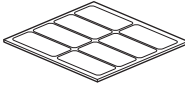

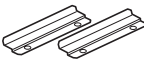
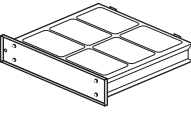



製品寸法図・付属品

製品寸法図



付属品

	トラスタッピンねじ φ 4.1 × 30 (4 本)		スプリングワッシャー M10用 (8 個)		脱煙フィルタ (1 個)
	トラスねじ M4 × 10 (10 本)		Uワッシャー (4 個)		油吸着フィルタ (1 個)
	トラスねじ M5 × 12 (5 本)		フード引掛け金具 (1 個)		エアフィルタ (1 個)
	ワッシャー 外径φ 45, 内径φ 10.2 (4 個)		引掛け棧 (2 個)		脱臭フィルタ (1 個)
	ワッシャー 外径φ 18, 内径φ 5.2 (4 個)				

取り付けかた

1. 本体の準備

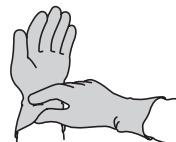
⚠ 注意



手袋をする

- 製品取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること

鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。



取扱注意

- 作業は2人以上でおこなうこと

製品本体は約45kgの重さがあります。



お願い

- ・ 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
- ・ 各種フィルタ類の取り扱いには十分ご注意ください。落下させたり強くぶつかけたりすると、フィルタ内部を破損するおそれがあります。
- ・ 床で作業する場合、本体および床にキズをつけないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。

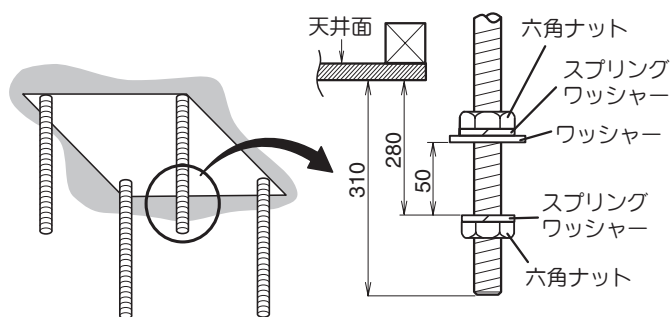
1 付属品を確認します。

保護用シートの上で梱包箱を開梱し、金具類、ねじ等の付属品を取り出し、7ページの付属品一覧により不足がないか確認してください。

2 吊りボルトにナット、ワッシャー類をセットします。

4本の吊りボルトに図の要領で六角ナット(取付作業側手配)、スプリングワッシャー、ワッシャー(外径φ45、内径φ10.2)をセットしてください。

※ 別売のスペーサーを使用する場合は、この作業をする前に別売品に付属の取付説明書をご覧ください。

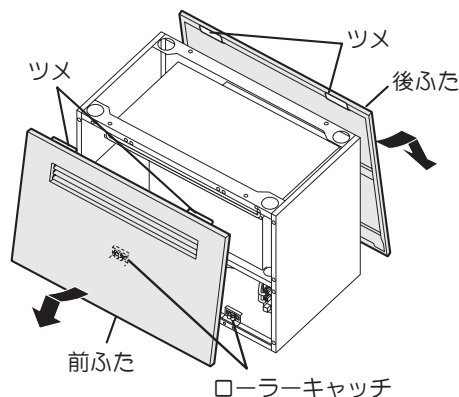


3 本体前後のふたをはずします。

下部のローラーキャッチからはずし、上部のツメを本体からはずします。

お願い

保護用シートがある場合、キズ防止のため取り付けが終了するまで取りはずさないでください。



取り付けかた

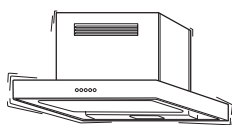
2. 本体の取り付け

⚠ 注意



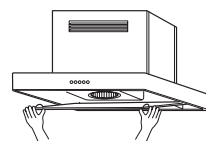
取付注意

- 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に起こすこと
落下によりけがをすることがあります。



取付注意

- 部品の取り付けは確実に起こすこと
落下によりけがをすることがあります。

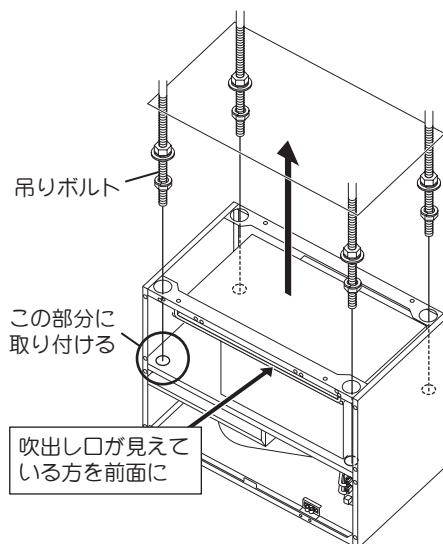


1 吊りボルトに本体を差し込みます。

本体上部の穴に天井の梁から出ている4本の吊りボルトを差し込みます。

お願い

- ・ 吹出し口が見える面がフードのスイッチ面（前面）となりますので、向きを確認して取り付けてください。
- ・ 吊りボルトに本体を差し込む際、配線をキズつけないよう十分に注意してください。

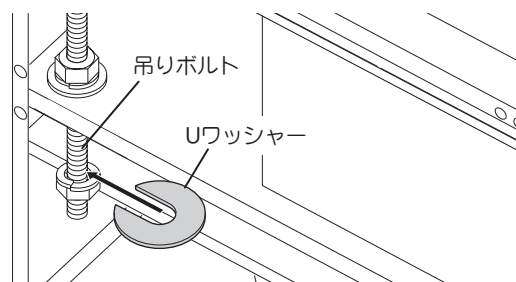


2 Uワッシャーを差し込んで固定します。

付属のUワッシャーを本体上部の内側4ヶ所に差し込み、六角ナットで締め付けます。

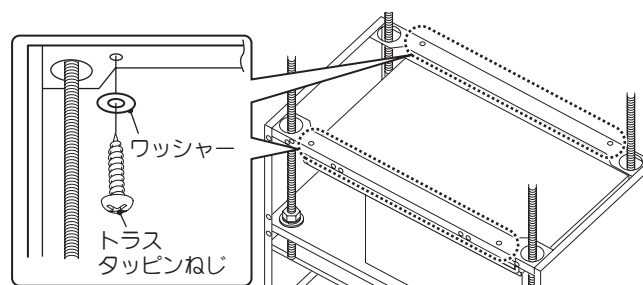
お願い

- ・ 本体と天井の間にすきまを作らないように取り付けてください。
- ・ 六角ナットを締め付ける際は、配線へのキズつけや、はさみ込み等に十分に注意してください。



3 本体をねじで天井面に固定します。

付属のトラスタッピンねじ(φ4.1×30)4本(位置ずれ防止用)にワッシャー(外径φ18、内径φ5.2)を通し、本体内側から天井に取り付けます。



取り付けかた

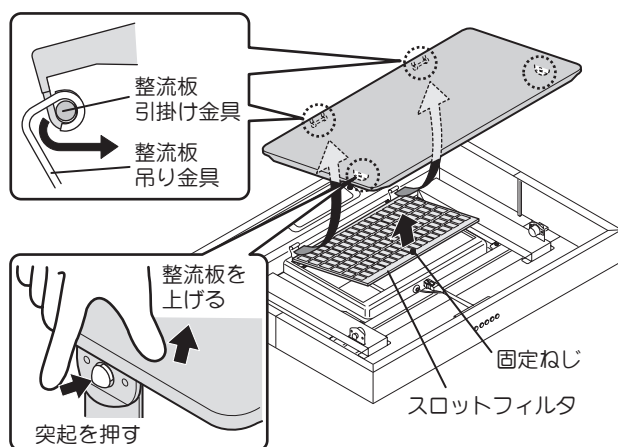
3. フードの取り付け

お願い

- ・ フード天板上のテープは「7. 試運転」終了後に取りのぞいてください。
ただし、配線コード固定用テープは取付作業時にとりはずしてください。
- ・ 作業する際は、製品や床などをキズつけないように十分ご注意ください。

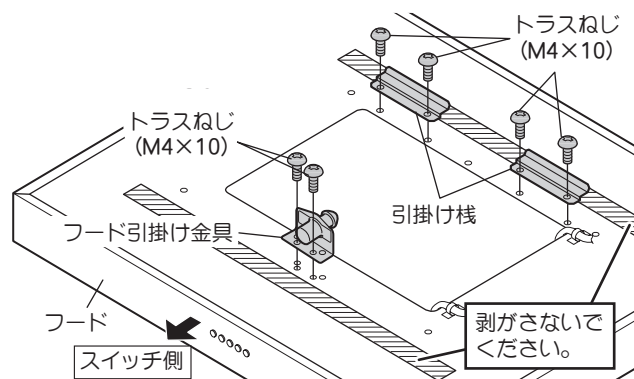
1 整流板とスロットフィルタをはずします。

- 1) 整流板の左右を両手で支え、押し上げます。
- 2) 左右の突起を押し込みながらゆっくりと10cm程度開いた状態で、整流板を少し奥に押し上げながら上に持ち上げ、整流板吊り金具からはずして手前に取りはずします。
- 3) 固定ねじをゆるめ、フード本体からスロットフィルタをはずします。
(スロットフィルタからねじははずれません)



2 フード引掛け金具と引掛け棧を取り付けます。

- フード上面前側（スイッチ側）に付属のフード引掛け金具をトラスねじ（M4 × 10）2本で取り付け、反対側に付属の引掛け棧をトラスねじ（M4 × 10）4本で取り付けます。

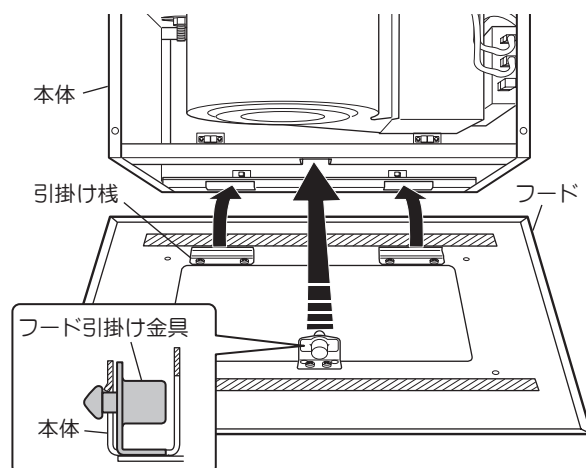


3 本体にフードを取り付けます。

- 1) フードを持ち上げ、やや左寄りにしてフード引掛け棧を本体内側のフランジに差し込みます。
- 2) フード引掛け金具が本体に「カチッ」とロックするまで持ち上げます。

お願い

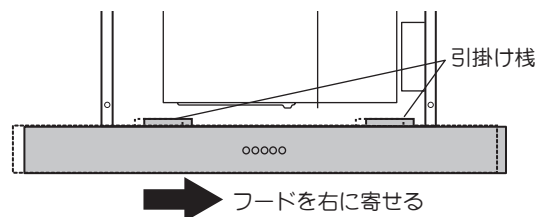
- ・ フードの配線をはさみ込まないように十分に注意してください。
- ・ 確実にフード引掛け金具のストッパーが本体の棧に引っ掛かったことを確認してください。ロックが不完全なまま作業を続けると、フード部が落下するおそれがあります。



取り付けかた

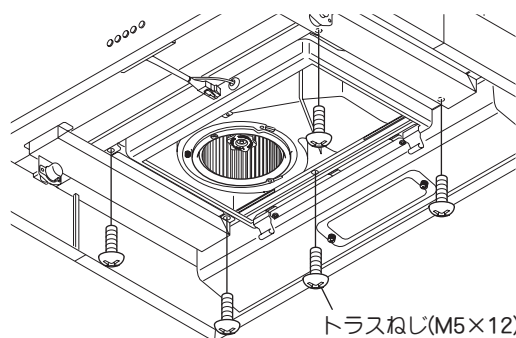
4 フードを右へ寄せます。

本体のフランジとフードの引掛け棧右端が合わさるまで寄せると、本体とフードの取付穴が合います。



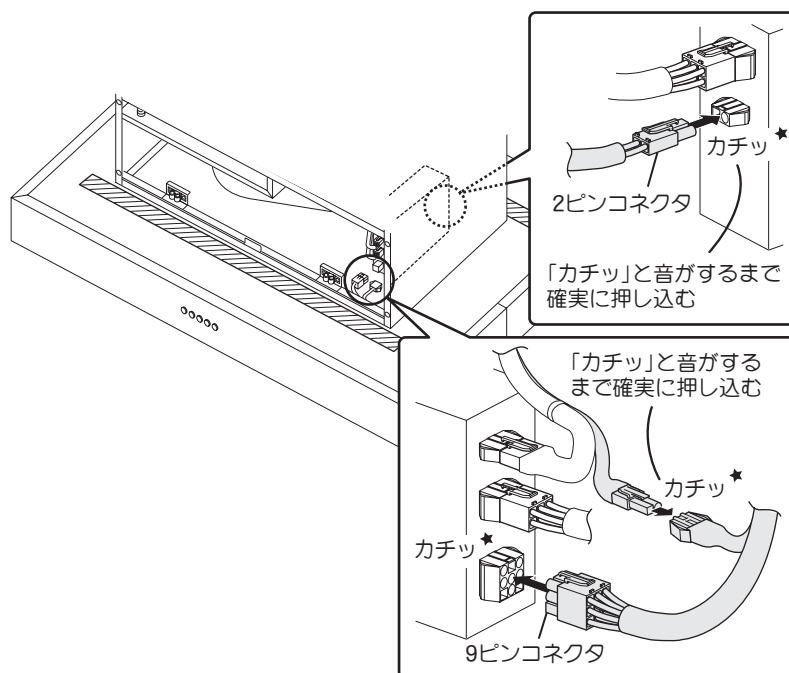
5 フードと本体をねじで固定します。

付属のトラスねじ (M5 × 12) 5本でフードと本体を固定します。



6 コネクタを接続します。

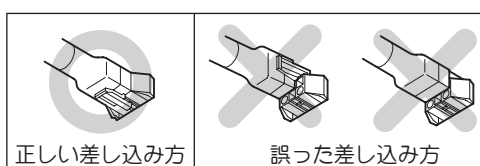
本体から出ている9ピン、2ピン (手前側) および2ピン (後側) の各コネクタをフードの各端子に正しく接続します。



※ コネクタの差し込みは確実にこなってください。動作不良の原因になります。

お願い

コネクタを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。接続が不十分な場合、室内循環フードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。



取り付けかた

4. 電気配線

警告



分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外は、絶対に分解したり修理・改造しないこと

発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。



使用禁止

- 交流 100V 以外では使用しないこと

火災・感電の原因になります。



取付注意

- 電気配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。



アースを
取り付ける

- アースを確実に取り付けること

故障や漏電のときに感電することがあります。

アースの取り付けは販売店にご相談ください。

電源プラグをコンセントに差し込みます。

「取り付け前の調査と準備」手順 1 (5 ページ) で設置した専用コンセントに電源プラグを差し込みます。

お願い

- ・ コンセントは JIS C 8303 2 極接地極付差込接続器 15A 125V をご使用ください。
- ・ 電源は専用のコンセントおよびブレーカを設けてください。
- ・ ブレーカは安全のため「7. 試運転」(16 ページ) まで「入」にしないでください。

5. 循環ユニット用フィルタの取り付け

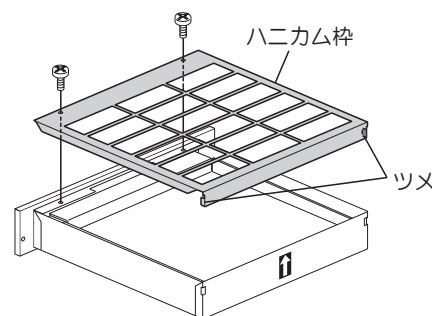
お願い

- ・ 各種フィルタ類の取り扱いには十分ご注意ください。
落下させたり強くぶついたりすると、フィルタ内部を破損するおそれがあります。
- ・ フィルタの粉が落ちる場合があります。
粉が衣服等に付着した場合、落ちなくなることがありますので取り扱いには十分注意してください。

1 脱煙フィルタを組み立てます。

脱煙フィルタは油吸着フィルタに重ねた状態でハニカム枠に収納され、本体に取り付けますが、出荷時は別梱包になっています。

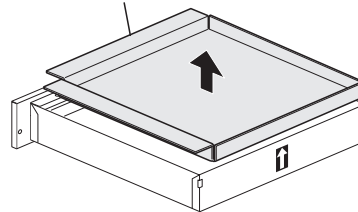
- 1) ハニカム枠上側のねじ 2 本をはずし、ハニカム枠を開きながら、下側 2 ヶ所のツメをフレームからはずして取り除きます。



取り付けかた

2) 輸送固定用ダンボールを取り除きます。

輸送固定用段ボール

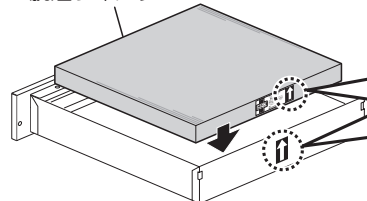


3) 脱煙フィルタを袋から取り出し、ボックス下側の矢印ラベルの方向と揃えて脱煙フィルタをセットします。

お願い

必ず脱煙フィルタとボックス下側の矢印を揃えてセットしてください。誤った取り付けをすると性能が悪化したり、吸い込みが悪くなり、異音・振動などの原因となることがあります。

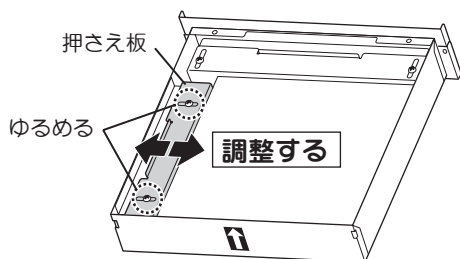
脱煙フィルタ



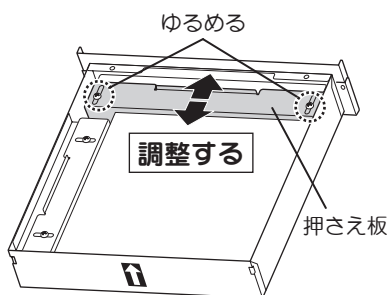
■ 脱煙フィルタが入りにくい場合は

フィルタの奥行きや幅の大きさに若干のバラツキがあります。ボックスに脱煙フィルタが入りにくい場合は下図に示す箇所のねじを少し緩めて押さえ板をずらしてから脱煙フィルタを挿入してください。挿入後は脱煙フィルタにガタがないように押さえ板の位置を調整し、再度ねじを締め付けてください。

左右が入りにくい場合



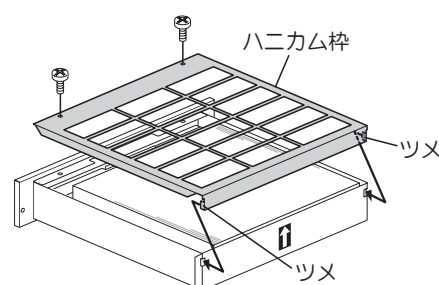
前後が入りにくい場合



お願い

脱煙フィルタを挿入した後は、脱煙フィルタにガタがないように必ず押さえ板の位置を調整し、ねじを締め付けてください。性能の低下や異音の原因になります。

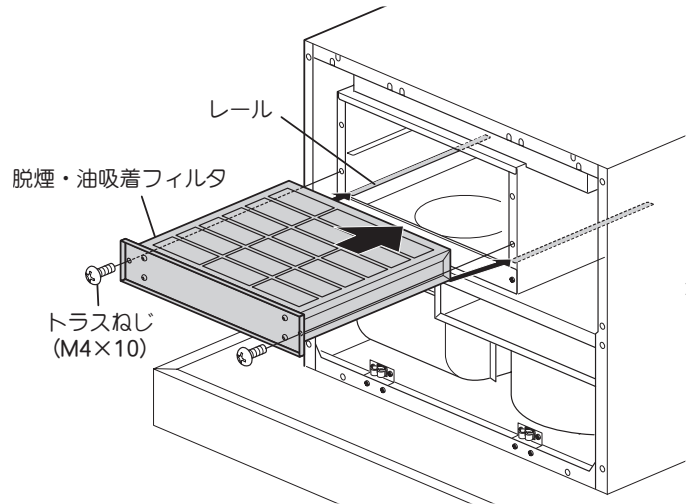
4) ハニカム枠下側のツメをボックス下側の穴に合わせてふたをし、上側をはずしたねじ2本で固定します。



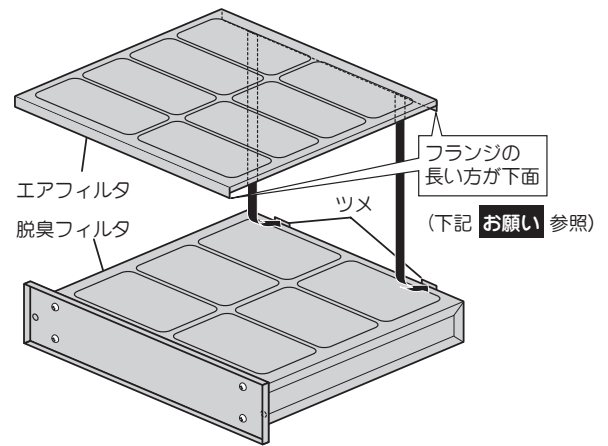
取り付けかた

2 各フィルタを取り付けます。

- 1) 脱煙・油吸着フィルタを図のように差し込み、付属のトラスねじ (M4 × 10) 2 本で固定します。

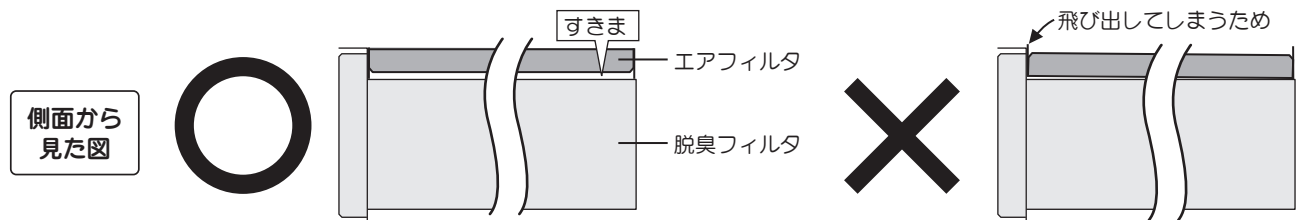


- 2) 脱臭フィルタの奥側のツメに当てるようにしてエアフィルタを載せます。

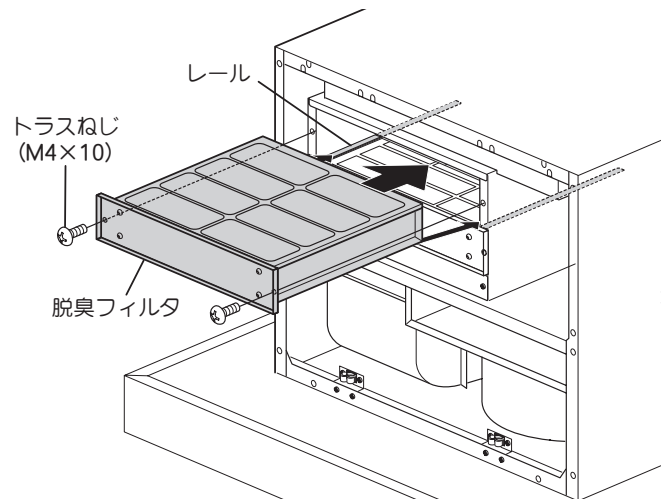


お願い

エアフィルタを載せる際は、脱臭フィルタとエアフィルタとの間にすきまが空く面を下側にしてください。



- 3) 脱臭フィルタを脱煙・油吸着フィルタの上に差し込み、付属のトラスねじ (M4 × 10) 2 本で固定します。



取り付けかた

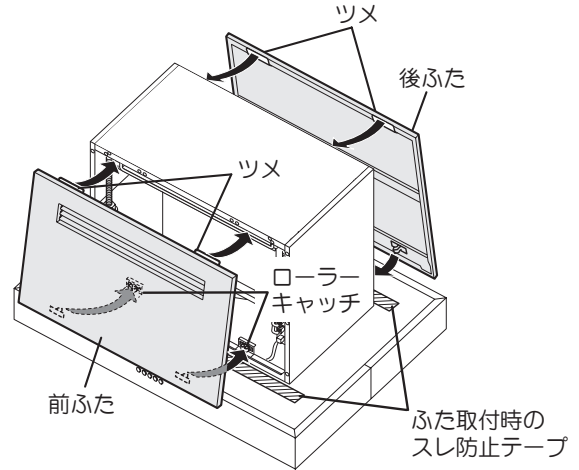
6. 前後ふた・スロットフィルタ・整流板の取り付け

1 本体前後のふたを取り付けます。

前後のふた上部のツメを本体に引っ掛け、下部のローラーキャッチで固定します。

お願い

- ・ 側面にすきまがないことを確認してください。
- ・ フード本体上面の白テープ2本は、前・後ふた取り付け時のスレ防止用です。「7. 試運転」終了後に剥がしてください。

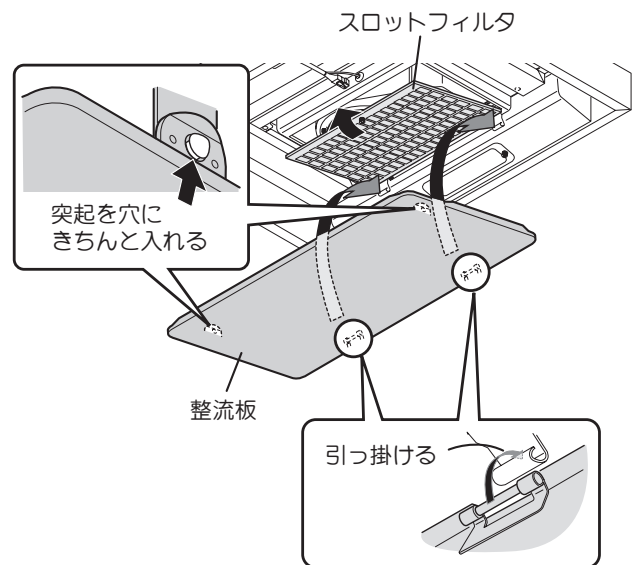


2 スロットフィルタと整流板を取り付けます。

スロットフィルタと整流板を、取りはずしたとき(10 ページ)と逆の手順で取り付けてください。

お願い

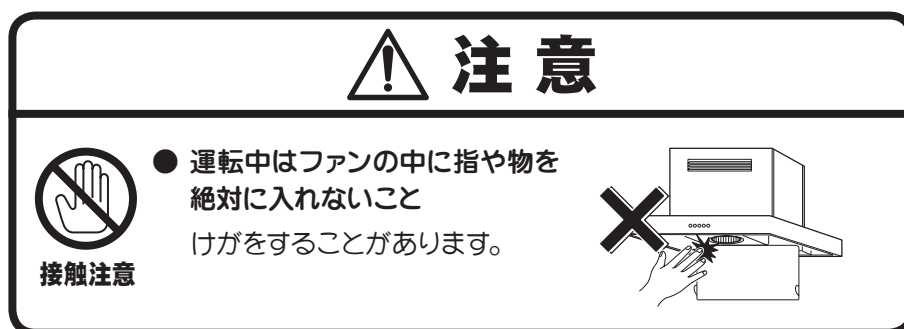
整流板を軽く上下に動かしてみ、確実に取り付けられたことを確認してください。



取り付けかた

7. 試運転

- 各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。
スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速調が正しく運転されていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 製品の吹出し口から排気され、異常音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは工事で発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。



8. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。